

## 令和6年度太成学院天満幼稚園学校関係者評価(集計用)

	評 価 内 容	評 価			
		A	B	C	D
1	園の教育目標・方針は理解されているか	7	2	0	0
2	教職員は協力し合い園児の指導にあたっているか	6	2	0	0
3	教職員は電話・来園者などに対し誠実な対応をしているか	7	2	0	0
4	教職員はわかりやすい保育をするよう心がけているか	6	2	0	0
5	教職員としての資質や保育の質の向上はされているか	5	3	0	0
6	教職員は保護者からの相談等に誠実に対応しているか	8	1	0	0
7	教職員は園児の模範となる言動を行っているか	6	2	0	0
8	教職員は地域・保護者と連携して教育しているか	4	4	0	0
9	園児が楽しく遊べるように環境は整備されているか	7	1	0	0
10	園児は意欲的に遊びや活動に参加しているか	7	1	0	0
11	個々の行事は園児が興味・関心をもてるように工夫されているか	6	2	0	0
12	保育は園児が豊かな人間関係をつくり心身子共にを伸びるように工夫されているか	6	2	0	0
13	支援を要する園児に対し配慮がされ、保護者との連携がなされているか	5	2	1	0
14	園児の安全指導について地域・保護者の協力を得ているか	4	4	0	0
15	保護者は親しみやすい園だと感じているか	7	2	0	0
16	保護者は園の行事や教育活動に積極的に参加しているか	7	2	0	0
17	電話連絡・お知らせの手紙等は明確に伝えられているか	4	4	1	0

A: あてはまる      B: 大体あてはまる      C: あまりあてはまらない      D: あてはまらない

### ◎学校関係者評価の結果より

教職員の対応や園生活について等ほぼ全ての質問に対して半数以上が高評価であったことは、教職員や園としての普段からの努力がうかがわれる。

今後も努力を惜しまず、園児や保護者にとって安心安全な園づくりを継続していきたい。

一方、唯一半数以上の高評価を得られなかった項目、「電話連絡・お知らせの手紙等は明確に伝えられているか」については、園として保護者へ明確に伝達ができるよう改善・工夫をしていくことが必要であると考えます。

## 令和6年度太成学院天満幼稚園教職員自己評価(集計)

	評 価 内 容	評 価			
		A	B	C	D
1	園の教育理念・教育方針の理解	3	5	0	0
2	指導計画の作成	2	3	2	0
3	遊びに必要な素材などを質・数量を構成している。	1	6	0	0
4	自分の保育と計画の評価・反省をしている。	3	4	0	0
5	怪我や事故には特に気をつけ、年齢に応じた環境構成や言葉がけを行なっている。	5	3	0	0
6	一人ひとり幼児をじっくり見ながら、幼児の発達の姿や課題について捕えている。	4	4	0	0
7	幼稚園教諭として専門知識や技術を身につけている。	0	7	0	0
8	幼児と保育者との対応に信頼関係を深めている。	3	4	0	0
9	遅い時間帯まで預かりの子ども(主に2号認定)が淋しくならないような環境構成・保育に努めている	4	3	0	0
10	園の重要書類の管理ができています。	6	2	0	0
11	教諭らしい品位ある言葉、正しい日本語を使っている。	3	5	0	0
12	幼児が行き詰ったとき、援助し、ほめたり励ましたりしている。	6	2	0	0
13	教職員で幼児の成長についてコミュニケーションを図っている。	4	4	0	0
14	職務上の守秘義務をはかっている。	6	2	0	0
15	卒園した子どもの小学校の情報を得ている。	1	4	2	1
16	地域社会の情報を得ている。	1	4	3	0
17	園内外における安全確認を常に行い、子どもたちの事故を防ぐマニュアル改善に努めている。	3	5	0	0
18	園内外の環境衛生に努めている。	2	6	0	0
19	支援を要する幼児の保育の研究をしている。	2	5	0	0
20	アレルギーなど最近多く見られる問題について理解している。	2	6	0	0
21	食育の一環として、園庭に家庭菜園を作り環境を整えている。	4	1	2	0
22	定期的に身体測定を行い、発育と健康を把握している。	4	3	1	0
23	尊敬する人に近づける努力をしている。	3	5	0	0
24	趣味、人とかかわりなど、潤いある生活を心がけている。	5	3	0	0

A:あてはまる      B:大体あてはまる      C:あまりあてはまらない      D:あてはまらない

### ◎教職員自己評価の結果より

教職員としての基本的な事項については、半数以上が高評価としている点では、教職員一人一人が責任ある立場として日々の業務を行っているということがうかがえる。今後もこの姿勢を継続し真摯に取り組んでいきたい。

専門的な分野になると少し弱い印象がある点については、今後研修や経験を積み重ね、教職員間での伝達や意見交換等密に行い協力し合うことで、一人一人がより専門的にも強い教職員になることを目指し、改善を図っていきたい。

一方、地域社会や卒園児等、園外における情報収集において、評価が比較的低い結果となっている点について、積極的に地域社会とのつながりを持ちながら、情報収集や情報共有に努めていきたい。

令和6年度 公開保育実施報告書

別添

① 幼稚園名	太成学院天満幼稚園			
② 実施（予定）日	令和6年 10月 11日（ 8時15分～12時30分）			
③ 実施場所	施設名：太成学院天満幼稚園園庭			
	住 所：大阪市北区与力町4-16			
④ 協力を得た教育に関する外部有識者	氏 名	教育、保育等に関する指導経歴		
	友竹 悠香	発達障がい児特別支援教育相談		
⑤ 参加した学校関係者評価の評価者	氏 名	本園との関係（役職など）	参加方法	
	1	加茂 千晶	教育後援会会長	直接参加
	2	近藤 美紀	教育後援会副会長	直接参加
	3	岡田 有加里	教育後援会副会長	直接参加
	4	野崎 真里奈	教育後援会役員	直接参加
	5	古川 奈緒美	教育後援会役員	直接参加
	6	磯野 美樹	教育後援会役員	直接参加
	7	重野 真由	教育後援会役員	直接参加
	8	岡田 愛海	教育後援会役員	直接参加
	9	宮脇 早織	教育後援会役員	直接参加
⑥ 他の幼稚園、認定こども園、保育所の職員、地域の幼児教育関係者、小学校等の他校種の教員等  ※同じ学校法人が設置する姉妹園の教職員は除く	氏 名	所属	参加方法	
	1	吉田 憲史	太成学院大学高等学校	直接参加
	2	上田 サナエ	コミニケ保育園	直接参加
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
⑦ 実施内容	ねらいとして、新しい生活習慣の中、子ども自身が生活の場を整え、友だちとふれ合い、体を十分に動かし、身体能力を高め、安定感をもって活動することとして行います。その後、参加いただいた方々に意見・アドバイスをいただきます。			

## クラス

## 氏名

あやめ	加 茂 千 晶
あやめ	野 崎 真 里 奈
あやめ	古 川 奈 緒 美
ば ら	磯 野 美 樹
ば ら	近 藤 美 紀
ゆ り	岡 田 有 加 里
ゆ り	重 野 真 由
う め	岡 田 愛 海
う め	宮 脇 早 織